

リーグ戦のオーダーミスが発生した場合は「日本卓球ルールブック[付録3]団体戦のガイドライン」を適用するが、このガイドラインに取り決めのない場合の問題解決については当連盟として別途定めることが望ましいと思われまますので、下記に示すことにしました。

### 1 チームの成立と失格「市町村卓球連盟の主催するリーグ戦の運営に関する規定」

第4条 チームの成立是非の判断は、各試合開始時において出場資格のある登録選手が4名以上そろっているチームを成立扱いとする。このとき、出場資格のある登録選手が4名以上そろわないチームは、その試合を失格扱いとする。

### 2 オーダー交換後（試合中含む）にオーダーミスが発見された場合

「日本卓球ルールブック」

(1)名前の一部を間違っただけの場合は、間違っただけのチームに正してもらい、オーダーは有効として試合を進める。

(2)オーダーが基準に合っていない場合は、基準に合っていない最初の試合を敗けとする。（例：1番と2番の選手同士で3番のダブルスに出るようなオーダーの場合は、3番を敗けとして試合を進める。）

(3)名前を偽って、オーダーに記入された選手と違った選手が出場した場合は、チームを敗けとする。例：ゼッケンの名前と選手が違っているような場合など。

「市町村卓球連盟リーグ戦細則」

5-1. 上期リーグ戦の出場選手資格は原則として毎期始めに登録したものとする。  
(注・選手名簿登録記載者)

下期リーグ戦の出場選手資格は、その年度の選手登録記載者及び正規の追加登録用紙にて決められた期日までに登録記載された選手に限り出場出来る。

5-2. (同一チーム間の選手の移動について)

上位チームの登録選手は下位チームに出場できないが、上位チームの選手が不足した場合（4名に満たない場合）2名以下に限り、下位チームの登録選手は不足人数だけ上位チームに出場することが出来るものとする（該当するリーグ戦の試合開始前までに選手移動の届け出が必要）。

選手は該当期間中のリーグ戦には1回のみ出場出来る。

上期に上位チームへ移動した選手が下期に登録変更をしない場合、下期のリーグ戦は登録どおりの下位チームに出場出来るものとする。

本リーグ戦細則に規定する以外の選手が出場した場合はそのチームの敗けとなる。

6. 前項の手続きを行ったもの以外の選手が出場した場合はそのチームの敗けとなる。

### 3 試合が終了してからオーダーミスに気付いた場合 「日本卓球ルールブック」

(1)既に表彰式も終了している場合は、全て有効として取り扱う。

(2)表彰式がまだ行われていない場合は、試合内容を再検討し、悪質なものは失格を含めて順位の入替えをすることがある。

(3)試合が始まってから、その前の試合に不具合が発見された場合は、既に終了した試合は有効として取り扱う。

間違っただけかあるいは偽ったのかは、審判長の判断に任せる。

※ 「市町村卓球連盟リーグ戦の進め方」に下記事項を追記します。  
未登録選手が出場した場合、そのチームは敗けとなります。